
あとがき

本書は、『東北大学生のための情報探索の基礎知識. 基本編』・『東北大学生のための情報探索の基礎知識. 自然科学編』と同様に、附属図書館の情報教育支援ワーキンググループ（WG）に属する5名のメンバーが執筆したものです。

専門別の情報探索入門書は諸本がありますが、先行事例には「人文社会科学系」全般をカバーするようなものがないため、人文社会科学系の情報探索に関して、このような形でまとめるということはこれまでにない大きな試みであると思います。それだけに、編集にあたっての最も大きな課題は、「情報探索」すべき資料や情報の種類が人文社会科学分野では非常に多様であり、また分野横断的に利用できるツールが少ないため、どのように「人文社会科学系」というまとまりに仕上げるか、ということでした。最終的には、人文社会科学系の情報の特色について検討を重ねた結果、以下のような編集方針をまとめました。

- ・基本構成は次の通りとする。

- 1) 何をどの段階で使用するのか、実際の研究の流れに沿った形にする。すなわち先行研究の探索法と一次資料(本書では「原資料」と表現しました。)へのアクセス方法解説を大きな2つの柱とする。
- 2) 全般・文学・教育学・法学・経済学の5分野に区分し、それぞれの代表的な先行研究検索ツールや一次資料について解説する。

- ・特に一次資料についての解説に重点を置く。また、重要な一次資料が身近にあることを知ってもらうため図書館のコレクションについても解説する。

- ・デジタルのみではなくアナログな手段も紹介し、双方の必要性を理解してもらう。

構成・内容ともにまだ行き届いていない点もあるかと思いますが、今後も改訂を重ねて人文社会科学系の学生の皆さんが研究する時に初めに目を通すようなマニュアルを目指していきたいと思います。

最後になりましたが、本書の編集に際しましてご多忙の中、事前アンケートにご協力をいただいた人文社会科学系の大学院生及び教員の方々、それに、原稿執筆や内容確認にご協力をいただいたみなさまに感謝申し上げます。また、長期におよぶ編集に多大なご協力をいただいた関係職員の皆さまにも、感謝申し上げます。ありがとうございました。

2007年3月1日 図書館情報教育支援 WG
『情報探索の基礎知識. 人文社会科学編』編集代表 半澤 智絵

■ 編集にご協力いただいた方々（敬称略、五十音順）

安部茂徳（東北学院大学図書館） 井上大樹（東北大学大学院文学研究科東洋・日本美術史研究室） 内馬場みち子（宮城県図書館） 大原理恵（東北大学史料館）
小川知幸（東北大学総合学術博物館） 川人典子（東北大学大学院法学研究科図書室） 菅野智則（東北大学大学院文学研究科考古学研究室） 後藤敏行（青森中央短期大学） 坂田久美子（東北大学大学院法学研究科図書室） 佐藤浩子（東北大学大学院法学研究科図書室） 佐藤優美子（東北大学大学院経済学研究科図書室）
清水健（奈良国立博物館学芸課工芸考古室） 清水緑（三溪園） 菅原淑子（宮城教育大学附属図書館） 藤本菜穂子（宮城高等専門学校図書館） 宮城県議会事務局政務調査課図書広報班 村上由美子（宮城県公文書館） 山田仁史（東北大学大学院文学研究科宗教学研究室） 渡辺順子（東北大学大学院法学研究科法政実務図書室）

■ 執筆分担（所属は 2007 年 3 月現在）

第 1 章：半澤智絵（情報管理課雑誌情報係）

第 2 章：落合浩平（医学分館整理係）、堀野正太（工学分館整理運用係）

第 3 章：尾田陽子（北青葉山分館管理係）、吉植庄栄（工学分館管理係）

ツール集：半澤智絵・尾田陽子

付録・コラム：上記各執筆者

監 修：佐藤初美（総務課情報企画係）、半澤智絵

※ 本文中に掲載した画面例の著作権者からは、本書への掲載をご快諾いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

■ 主な参考文献（著者の五十音順）

- 1) いしかわまりこ ほか『リーガル・リサーチ』 第2版 日本評論社、2005
- 2) 井上真琴『図書館に訊け！』 筑摩書房、2004（ちくま新書）
- 3) 大串夏身『文科系学生の情報術』 青弓社、2004
- 4) 岡崎武志『古本でお散歩』 筑摩書房、2001
- 5) 小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』 講談社現代新書、2002
- 6) 川喜田二郎『KJ法：混沌をして語らしめる』 中央公論社、1986
- 7) 川鍋道子『国際機関資料検索ガイド』 東信堂、2003
- 8) 紀田順一郎『古書街を歩く』 新潮社、1979
- 9) 木下是雄『レポートの組み立て方』 筑摩書房、1994（ちくま学芸文庫）
- 10) 京都大学大学院法学研究科附属国際法政文献資料センター『外国の法律・政治行政資料の調べ方・文書の入手方法』
<<http://www.users.kudpc.kyoto-u.ac.jp/~c53851/frameset-mokuji.htm>>
(閲覧日 2007.3)
- 11) 国立国会図書館『テーマ別調べ案内』
<<http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme.html>> (閲覧日 2007.3)
- 12) 酒井聡樹『これから論文を書く若者のために』 共立出版、2006
- 13) 佐藤望編著『アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門』 慶應義塾大学出版会、2006
- 14) 諏訪邦夫著『発表の技法：計画の立て方からパソコン利用法まで』 講談社、1995
- 15) 高鍬裕樹『デジタル情報資源の検索』 京都大学図書館情報学研究会、2005
- 16) 高橋徹『古本屋 月の輪書林』 晶文社、1998
- 17) 千野信浩『図書館を使い倒す！』 新潮社、2005（新潮新書）
- 18) 坪内祐三「明治文化が一冊でわかる労作」（『本の雑誌』1997. 10 p12-13）
- 19) 同志社大学図書館『情報探索の技』
<<http://www.doshisha.ac.jp/library/technique/index.html>> (閲覧日 2007.3)
- 20) 東北大学附属図書館『コレクション』
<<http://www.library.tohoku.ac.jp/collect/collect.html>> (閲覧日 2007.3)

-
- 21) 東北大学文学部行動科学研究室『行動科学研究マニュアル』 Ver.2006
2006
 - 22) 戸田山和久『論文の教室：レポートから卒論まで』日本放送出版協会、
2002
 - 23) 長澤規矩也『古書のはなし-書誌学入門-』 富山房、1976
 - 24) 中村捷 [ほか] 編『人文科学ハンドブック：スキルと作法』 東北大学
出版会、2005
 - 25) 西野喜一『法律文献学入門：法令・判例・文献の調べ方』 成文堂、2002
 - 26) 橋本不美男『原典をめざして-古典文学のための書誌-』 笠間書院、1974
 - 27) 林望『書誌学の回廊』 日本経済新聞社、1995
 - 28) 日比野正己編『研究のすすめ方：テーマ設定から論文執筆・学会発表ま
での総合スキル』 阪急コミュニケーションズ、2003
 - 29) 福島大学附属図書館『法律・判例文献アクセスマップ』（「福島大学附
属図書館報 書燈」No.37 別刷、2006）
<<http://www.lib.fukushima-u.ac.jp/shoto/shoto-pdf/no.37legal.pdf>>（閲
覧日 2007.3）
 - 30) 本多勝一『日本語の作文技術』 新装版 講談社、2005
 - 31) 毛利和弘『文献調査法：調査・レポート・論文作成必携：情報リテラ
シー読本』 第2版 日本図書館協会、2006
 - 32) 山口昌男『敗者学のすすめ』 平凡社、2000
 - 33) 山本善行『関西赤貧古本道』 新潮社、2004
 - 34) 横山浩一ほか『岩波講座日本考古学 v. 1 研究の方法』 岩波書店、1985
 - 35) 米澤誠『上手なレポートの作り方』 東北大学附属図書館工学分館 2006
（東北大学附属図書館工学分館講習会「理工系学生のための講習会」テ
キスト）
 - 36) 渡部昇一、谷沢永一『読書談義』 徳間書店、1998

※他にも、各データベースのマニュアル、各種情報検索関連の多数の文献、ウェブサイトを参考にさせていただきました。